

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月25日

協議会名： 洞爺湖町地域公共交通活性化協議会  
 評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                                      | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況       | ④事業実施の適切性 |                            | ⑤目標・効果達成状況                                                                                        | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)                                          |
|-----------|--------------------------------------------|-----------------------------------|-----------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 道南バス株式会社  | 虻田地区コミュニティバス<br>(JR洞爺駅～協会病院～JR洞爺駅)         | 運行内容等の周知や、今後の交通体系構築に向けた乗降調査を実施した。 | A         | 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | A<br>目標① 年間利用者数 10,900人<br>結果 年間利用者数 8,516人(達成率78%)<br>昨年と比較して全世帯において利用者が増加傾向にあり、利用実績の向上につながった。   | 走行距離、走行時間の短縮、買い物等利便性向上のためのルート変更、カード等による支払方法の改善、路線バス等との接続・乗り継ぎの改善 |
| 洞爺湖町      | 洞爺地区コミュニティバス<br>(洞爺高台～洞爺湖温泉病院～とうや水の駅)      | 運行内容等の周知や、今後の交通体系構築に向けた意見交換を実施した。 | A         | 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | C<br>目標① 年間利用者数 1,500人<br>結果 年間利用者数 767人(達成率51%)<br>利用者が昨年度より微増しており、認知度が上昇しているが利用促進には直接的に繋がらなかった。 | 利用意向を踏まえた運行時刻の改善、利用増加に向けた周知                                      |
| 札幌交通株式会社  | 通学等支援コミュニティタクシー<br>(洞爺湖町花和地区～洞爺高台地区～JR洞爺駅) | 運行内容等の周知や、今後の交通体系構築に向けた意見交換を実施した。 | A         | 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | C<br>目標① 利用者数 2人/日<br>結果 利用者数 1人/日(達成率50%)<br>新規登録者が定期的に利用していたが、進学によって冬期間の利用がされなかった。              | 令和6年1月16日より明星自動車㈱に事業継承                                           |
| 明星自動車株式会社 | 通学等支援コミュニティタクシー<br>(洞爺湖町花和地区～洞爺高台地区～JR洞爺駅) | 運行内容等の周知や、今後の交通体系構築に向けた意見交換を実施した。 | A         | 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | C<br>目標① 利用者数 2人<br>結果 利用者数 1.13人(達成率56%)<br>複数名の新規登録者が定期的に利用しており、利用実績は増加したが、学生以外の利用が見られなかった。     | 令和6年1月16日より明星自動車㈱に事業継承<br>利用意向を踏まえた運行時刻の改善、利用増加に向けた周知            |
|           |                                            |                                   |           |                            |                                                                                                   |                                                                  |
|           |                                            |                                   |           |                            |                                                                                                   |                                                                  |

事業実施の目的・必要性

洞爺湖町の公共交通は、平成26年10月以前の花和経由の福祉バス、洞爺地区福祉バスにおいて利用者が少ない便が存在するなど、非効率的な運行となっており、洞爺湖町市街地、洞爺湖温泉地区や洞爺地区の一部には交通空白地域が存在し、交通空白地域の改善等による交通サービスの格差解消が課題となっていたことから、平成25年6月には「洞爺湖町生活交通ネットワーク計画」を策定し、同年10月より「虻田地区コミュニティバス」「洞爺地区コミュニティバス」「花和地区コミュニティタクシー」の3つの運行形態による新たな交通として、病院・買い物・温泉の生活維持や健康づくりを目的とした公共交通の運行を開始している。

運行を継続する中、利用者から、利便性の向上に対する要望があったため、時刻や運行便数の見直しが検討課題となっている。また、洞爺地区コミュニティバスにおいては、洞爺地区の高齢利用者から空白地域の改善の要望があり、運行ルートの見直しが課題となっている。

このため、洞爺地区の運行形態の見直しや地域公共交通確保維持改善事業により、本町における住民の生活交通手段を維持・確保し、地域幹線系統等への接続による公共交通を存続させていくことが必要である。洞爺湖町の地域・交通課題や住民ニーズ等を踏まえ、住民一人ひとりが幸せを感じる生活交通の構築と活力あふれ元気をつくる交通環境の創出を図ろうとするものである。

生活交通確保維持改善計画の目標

- ・虻田地区コミュニティバス 年間利用者数 10,900人(1便あたり5.0人)
- ・洞爺地区コミュニティバス 年間利用者数 1,500人(1便あたり2.5人)
- ・通学等支援コミュニティタクシー 年間利用者数 2人/日

令和6年度事業概要

- ・虻田地区コミュニティバス(JR洞爺駅～協会病院～JR洞爺駅)を運行
- ・洞爺地区コミュニティバス(洞爺高台地区～洞爺温泉病院～とうや水の駅)を運行
- ・通学等支援コミュニティタクシー(花和地区～JR洞爺駅)を運行

地域公共交通の現況

- ・JR室蘭本線(JR洞爺駅)
- ・道南バス(株)(7路線)
- ・虻田地区コミュニティバス(2系統)
- ・洞爺地区コミュニティバス(1系統)

協議会開催状況

- (主な協議事項)
- 令和6年6月27日 令和6年度第1回協議会
  - ・令和5年度洞爺湖町地域公共交通活性化協議会決算について
  - ・令和5年度洞爺湖町地域公共交通計画の事業評価について
  - ・令和6補助年度運行状況の中間報告について
  - ・令和7運行年度運行計画(案)について
  - ・洞爺湖町地域公共交通計画の変更について
  - ・地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
  - ・共創モデル実証プロジェクトについて
- 令和6年12月25日 令和6年度第2回協議会
- ・令和6補助年度洞爺湖町地域公共交通確保維持事業に関する自己評価(案)について
  - ・共創モデル実証運行事業の進捗報告
  - ・今年度以降の実施事業について

# 令和6年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

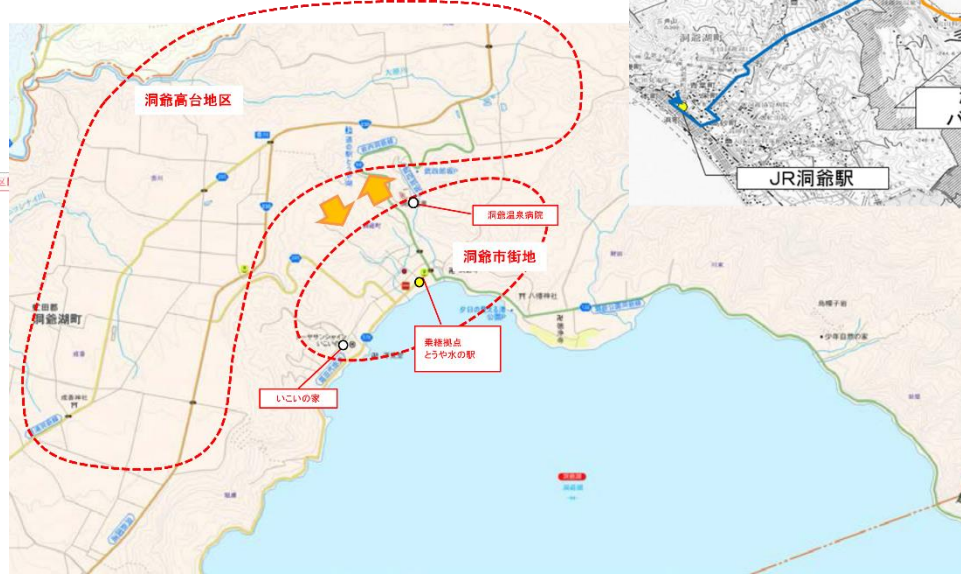
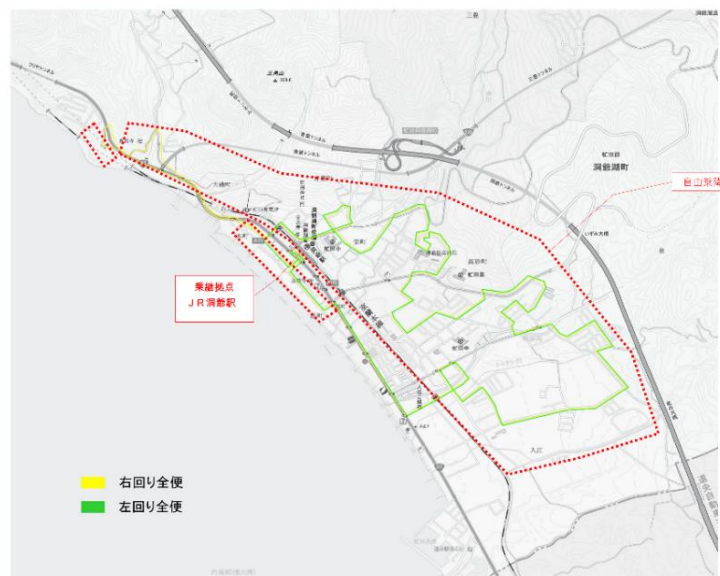
### ○プロセス

- H25.6 洞爺湖町地域公共交通活性化協議会発足
- H26.6 洞爺湖町地域公共交通ネットワーク計画策定
- H26.6 洞爺湖町地域内フィーダー系統確保維持計画策定
- H27.10 洞爺地区コミュニティバスをデマンド運行に変更
- H29.10 高齢者運賃を有料化  
運行状況・利用希望等の把握、変更案の作成、利用者等への周知、意見交換等の実施、運行計画の作成・運行

### ○創意工夫

- ・広報での周知・希望者あてに個人別時刻表等の配布(随時)
- ・乗降調査等の実施
- ・今後の交通体系構築に向けた意見交換を実施 など

## 2) 運行系統



### 3) 利用実績

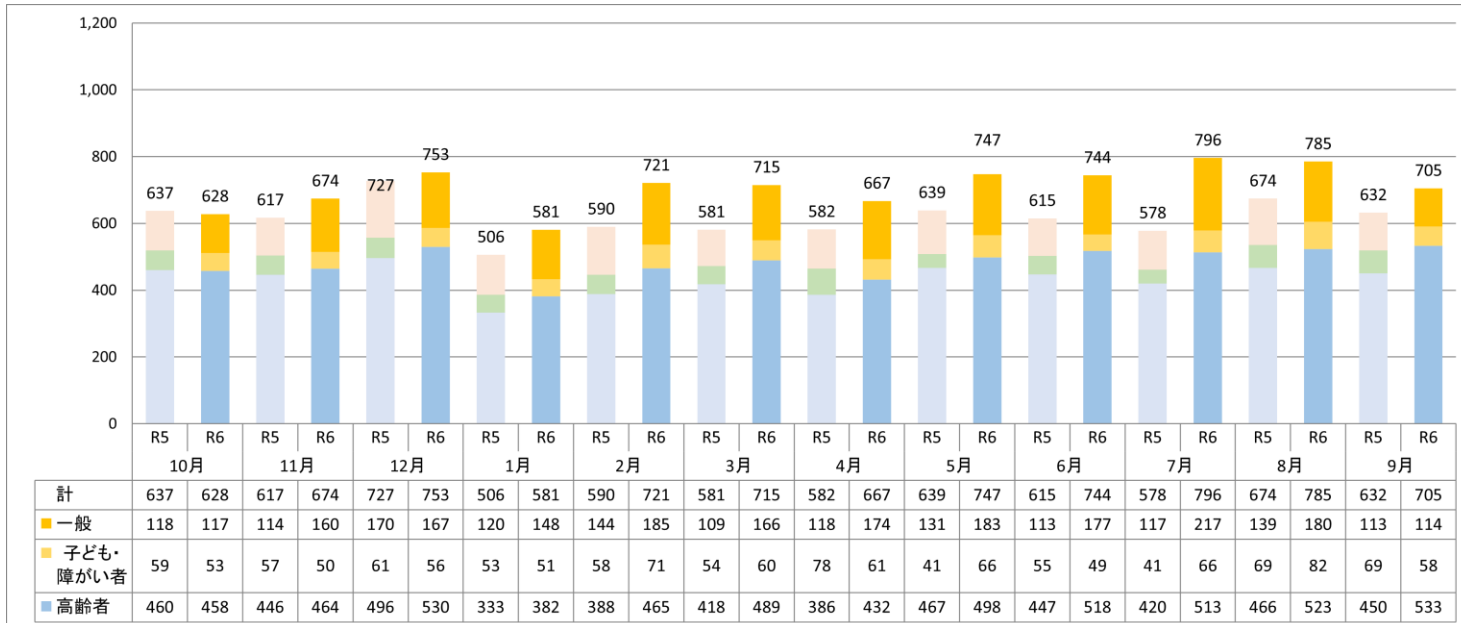
### 4) 収入実績

#### ● 虻田地区コミュニティバス

利用実績(単位:人)

R5 7,378人

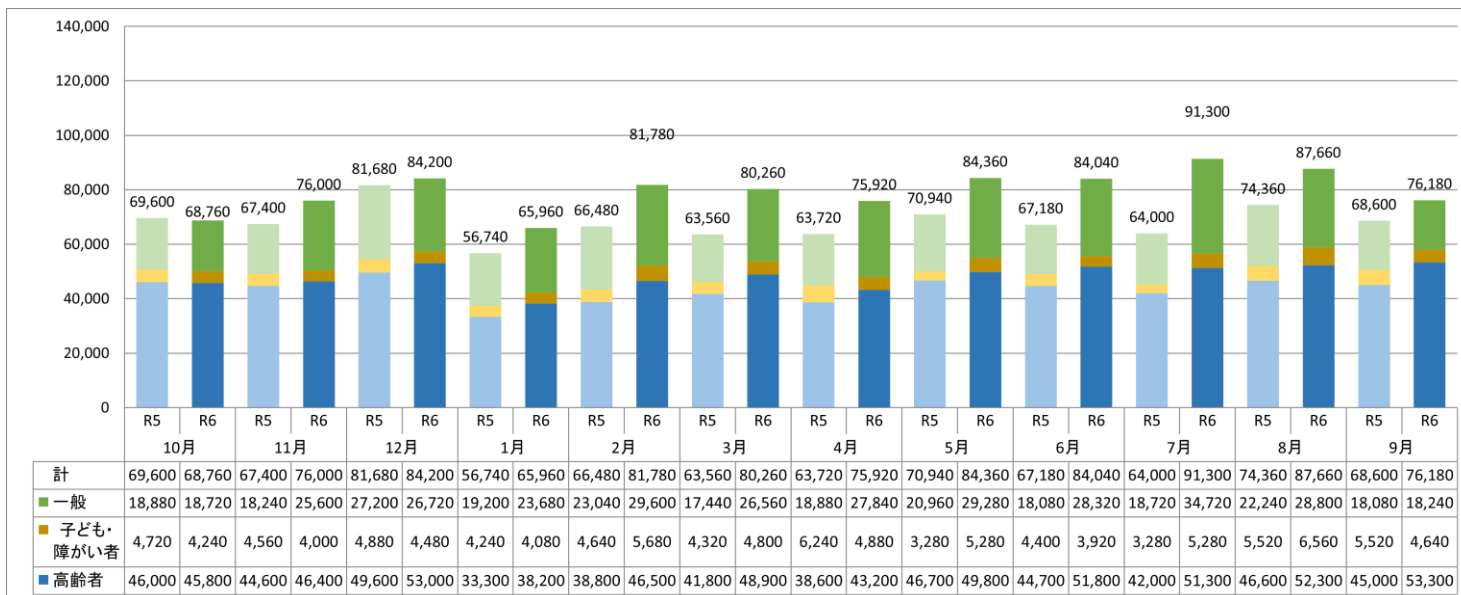
R6 8,516人



収入実績(単位:円)

R5 814,260円

R6 956,420円



### 3) 利用実績

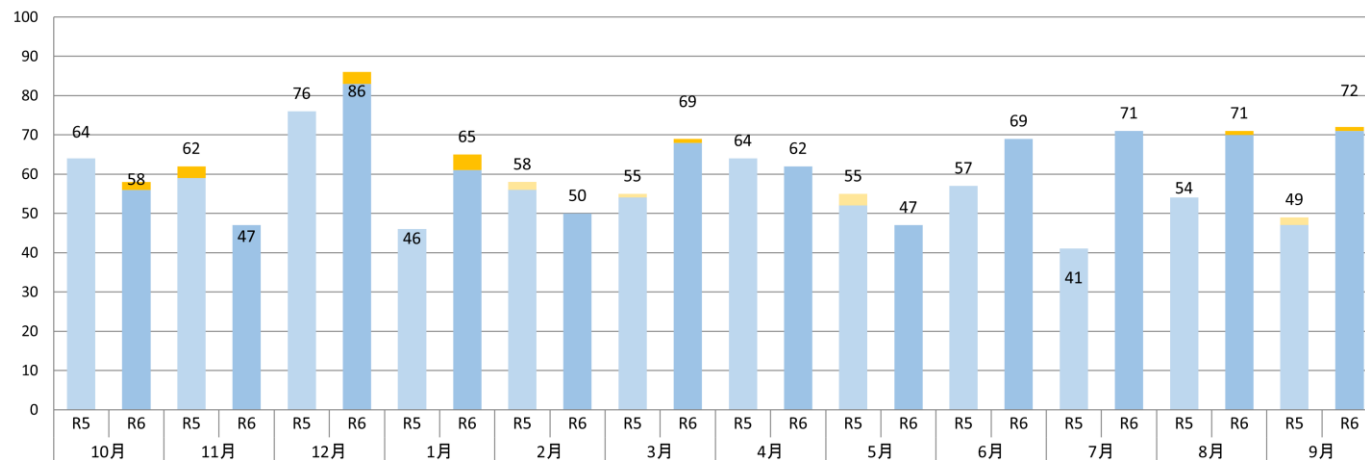
### 4) 収入実績

#### ●洞爺地区コミュニティバス

利用実績(単位:人)

R5 681人

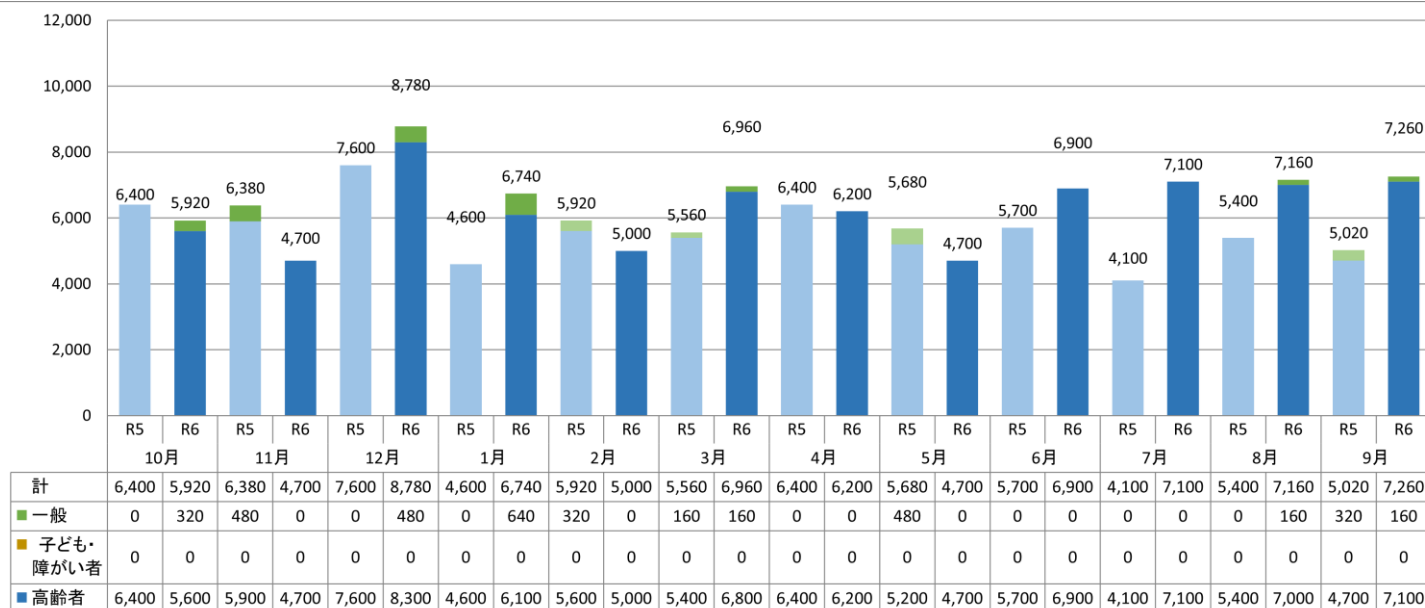
R6 767人



収入実績(単位:円)

R5 68,760円

R6 77,420円







## 5)事業実施の適切性

- 虻田地区コミュニティバス
  - 洞爺地区コミュニティバス
  - 通学等支援コミュニティタクシー
- 事業が計画に位置付けられた通り適切に実施された。

## 6)目標・効果達成状況

- 虻田地区コミュニティバス  
計画に位置付けられた目標を概ね達成した。  
目標① 年間利用者数 10,900人  
結果 年間利用者数 8,516人(達成率78%)
- 洞爺地区コミュニティバス  
計画に位置付けられた目標を達成できなかった。  
目標① 年間利用者数 1,500人  
結果 年間利用者数 767人(達成率51%)
- 通学等支援コミュニティタクシー  
計画に位置付けられた目標を達成できなかった。  
目標① 年間利用者数 2人/日  
結果 年間利用者数 210人(1.12人/日 年間187便)  
(達成率56%)

## 7)事業の今後の改善点

- 虻田地区コミュニティバス  
走行距離・走行時間の短縮  
買い物等利便性向上のためのルート変更  
路線バス等との接続・乗継の改善
- 洞爺地区コミュニティバス  
利用意向を踏まえた運行時刻の改善  
余剰運行の削減のため予約制に転換  
利用増加に向けた周知
- 通学等支援コミュニティタクシー  
とうやコネクトタクシーへ転換したため、今後も利用意向を踏まえ  
運行時刻の改善を行う  
利用増加に向けた周知

## 8)地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄